

# まほろば秦野通信

平成30年1月18日

タイトル	<b>個人の農家で県内初！ ASIAGAP取得 伊藤隆弘さん</b>
When (いつ)	認証日：1月14日（有効期限：平成32年1月13日）
Where (どこで)	秦野いとう農園（菩提 1230-2）
Who (だれが)	伊藤隆弘 氏
What (なにを)	ASIAGAP農場用 管理点と適合基準 青果物 Ver 1 （トマト、ミニトマト、スイートコーン、きゅうり、なす、オクラ、ねぎ、ブロッコリー、カリフラワー、かんしょ、そらまめ、レタス、ほうれんそう、ブルーベリー、かき）
How (どのように) Why (なぜ)	伊藤さんは、システムエンジニアを続けてきたが、平成18年度に新規就農。“農家のルール”がわからない中で、一つの指針としてGAPの勉強を始め、JGAP指導員の資格を取得し、これまでその知識を活かして農業生産に取り組んできました。2020年の東京オリ・パラの選手村の食材供給にJGAPの取得が必要と聞き、平成29年3月頃から認証を意識し、準備を始めました。12月中に1回目の審査を受け、年末年始にかけて2回目の審査を受け、認証に至りました。
How much (予算)	国際水準 GAP 認証取得支援事業を利用
過去の実績	平成23～29年度 秦野市民農業塾新規就農コース講師
今後の取り組み	「若い世代の農業者が今後事業拡大をする際にGAPを取り入れることがあれば、自分の経験等を参考にして欲しい。」 (伊藤氏談)
問い合わせ	環境産業部農産課農業支援担当 担当：大木 電話0463(81)7800